

特集 世界に羽ばたく青森県産品	P1~2
青森県の商品づくり・あおもり食育サポーター、動く!	P3
秋冬のインフルエンザ対策・糖尿病について	P4
ネットいじめ等通報窓口・犯罪被害者支援制度	P5
観光コンテンツの紹介・創業・起業にチャレンジ	P6
とことん青森・情熱青森!レポート・申吾のほっとコラム	P7
イベント特集・インフォメーション	P8



※背景は上海の輸入
果物卸売市場です。
(社)青森県りんご輸出協会
太田理事長と生産者の皆さん



**青森りんごを
世界各国へ!**
高い品質に自信をもって、
さらなる輸出拡大を目指す。

Q. 青森りんごは、
どの国にどれくらい
輸出されていますか?

A. 青森りんごの主な輸出先
は、台湾、香港、タイ、中国が多
く、続いてシンガポール、イン
ドネシアです。中でも、いちばん輸出量
が多い台湾には、年間約2万1千トン、
りんごの全輸出量の約9割が出荷さ
れています。(財務省「日本貿易統計」
より)

Q. 青森りんごの
海外での評判は?

A. 青森りんごは、美味しさはも
ちろん、見た目も美しいとかな
り評判です。台湾のショッピング
センターでキャンペーンを行った際
には、消費者の方々にほめられては
かりました。台湾では高級果物として扱わ
れ、主に「サンふじ」が食われています
が、贈答用には、見た目の良さから有袋
の「大玉ふじ」が好まれ、日本と同じよう
に目で見て味わい、食して楽しむといっ
た習慣があるようです。一方、中国では、
「世界一」や「陸奥」、「金星」、「大紅栄」な
どが評判です。品質の良いものは消費者
が選んで決める。これは、どの国も同
じなんだと、あらためて実感しました。

台湾では、青森りんごがアメリカ産の
3倍、中国産の10倍以上の価格でもよく
売れています。それは他国産と比べて青
森りんごは品質が高いと認められてい

Q. 青森りんごの
輸出の歴史について

A. 台湾では、100年以上も前か
ら青森りんごが食べられてい
ます。一時輸出が中断したも
の戦後の昭和25年から再開され、今年
で60周年を迎えました。

Q. 今後、輸出にける想いは?

A. 世界を相手に商売している
と、時には思いもよらぬトラ
ブルに遭遇します。しかし、そ
れを苦労と思わず、チャンスとして楽し
む。とにかく海外の市場では、挑戦ある
のみです。国は違えど、こちらが本気
で伝えれば、その想いは相手に必ず伝わ
ります。そして、少しずつ信用と信頼を
得て、海外での人脈を広げていく。これ
らは全て、海外での経験と努力によって
培われました。今後はさらに、青森りん
ごが海外でブランド化され、青森県が目
標とする「平成27年まで3万トンのりん
ごを輸出」をクリアし、将来的には世界
最大の輸出国となるのが夢ですね。